

【科目名】8. 園芸療法演習		
【期 別】 通年	【区 分】 必修	【種 別】 演習
【単位・コマ数】 2単位・15コマ	【時間数】 22.5	
【主任教員】 ○豊田 正博 (15)		
【分担教員】 ○劔持 卓也 (15), ○上地 あさひ (15)		
【授業のねらい】 園芸療法の実践事例を題材にして、問題解決能力を養う。		
【日程】	【担当教員】	【授業予定】
通学2年次 5/14 (日) 1-5限	豊田, 劔持, 上地	<ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅱのふりかえり・まとめ ① 実習におけるリスク管理と対処 (疾患, 虫害, リスク事例) ② 心地よい緑の環境の使い方 (園芸療法における散歩とは) アルファガーデンを利用して ③ 症例検討 (健康上の課題とプラス, 焦点化, 目標設定) ④ プログラムの使い方 春から秋にかけての栽培, 創造活動, ハーブの手浴 ⑤ 作業を活かす言葉 ⑥ 評価のしかた (目標達成度の定量的評価方法) ⑦ 報告会に向けて (パワーポイント, 報告書作成) 実習Ⅱで担当した症例についてICF図・課題・プラス・統合解釈・焦点化の確認
全寮 7/25 (火) 1-5限	豊田, 劔持, 上地	<ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅱのふりかえり・まとめ ① 実習におけるリスク管理と対処 (疾患, 虫害, リスク事例) ② 心地よい緑の環境の使い方 (園芸療法における散歩とは) アルファガーデンを利用して ③ 症例検討 (健康上の課題とプラス, 焦点化, 目標設定) ④ 春から秋にかけての栽培プログラムの使い方 ⑤ 創造活動プログラムの使い方 ⑥ ハーブの手浴 ⑦ 症例検討 (健康上の課題とプラス, 焦点化, 目標設定) ⑧ 作業を活かす言葉 ⑨ 評価のしかた (目標達成度の定量的評価方法) ⑩ 報告会に向けて (パワーポイント, 報告書作成) 実習Ⅱで担当した症例についてICF図・課題・プラス・統合解釈・焦点化の確認
通学2年次 8/20 (日) 1-5限	豊田, 劔持, 上地	<ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅲの途中経過のふりかえり・今後の展開検討 ① 事例検討 (目標, 評価法, 園芸療法計画内容のチェック) ② 作業を活かす言葉・支援
全寮 9/26 (火) 1-5限	豊田, 劔持, 上地	<ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅲの途中経過のふりかえり・今後の展開検討 ① 事例検討 (目標, 評価法, 園芸療法計画内容のチェック) ② 作業を活かす言葉・支援
寮通2年次合同 12/10 (日) 1-5限	豊田, 劔持, 上地	<ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅲのまとめ 1限: ヒヤリハット, 作業を活かす支援・言葉 2限: 評価のまとめ方 (プロセスレコード, AHTAS, QOL-D, 目標達成度の数値化) 3限: 報告書・A3要旨作成, パワポ作成 4・5限: 個別指導

【予習課題】	なし	
【購入・参考図書】	なし	
【成績評価の方法】	豊田, 劔持	授業における気づきの提出, 発表内容等で評価する。 気づきの提出期限は翌週日曜日まで。
【受講生への 連絡・希望】	<p>●毎回持参するもの：</p> <p>①ノートPC</p> <p>②自分の園芸療法実習に関するデータ（詳細は別途連絡） ひな形のデータを事前にメールにて送信します。</p> <p>●毎回、以下を印刷して1部持参する。（授業開始時に回収して学校で印刷）</p> <p>①園芸療法実習報告会で発表予定の対象者について、A4判両面を使って、最新の情報を書き入れたICF図と裏面には目標、評価状況、園芸療法計画表と実際のプログラム、変化や気づき、疑問などを書いたもの。</p> <p>②ヒヤリハット</p> <p>●また、今までSVとやり取りを行った活動チェックリストについてもデータを持参する。</p>	